

2021年3月期 決算の発表について

昭和産業株式会社(社長:新妻一彦)の2021年3月期決算は、売上高 255,997 百万円、経常利益 9,213 百万円となりました。2022年3月期連結業績予想については、売上高 2,800 億円、経常利益 90 億円を見込んでおります。

【2021年3月期連結決算】

当連結会計年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済・社会活動が制限され、極めて厳しい状況が続きました。ウィズコロナに対応した生活様式の定着や、国内でのワクチン接種も始まりましたが、一方で、同ウイルス変異株による新規感染者が増加する等、いまだ感染収束の見通しは立っておらず、依然として厳しい状況が続いております。

さらに、原料穀物におきましても、中国の堅調な需要や米国、南米の天候不順による減産観測から国際相場は上昇を続けており、市場は価格高騰を危惧する状況となっております。

このような状況の中、当社 90 周年を迎える 2025 年度のありたい姿(長期ビジョン)「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、2nd Stage「中期経営計画 20-22」を昨年4月にスタートいたしました。5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③社会的課題解決への貢献」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各種施策の推進に努めてまいります。

当連結会計年度では、「①基盤事業の強化」の施策については、糖質事業において国内での安定供給体制を一層強固なものとし、更なる生産性向上を図ることを目的に、サンエイ糖化株式会社を子会社化いたしました。両社の販売チャネルや原料調達力、技術力、研究開発力、マーケティング機能等を融合することで、新たな価値の創出を実現してまいります。

「②事業領域の拡大」の施策については、台湾大成集団のグループ会社である「國成麵粉股份有限公司」および「中一食品股份有限公司」が実施する第三者割当増資による株式を引き受け、台湾において新たに「製粉事業」「飼料事業(鶏卵)」に参入いたしました。両社は当社の持分法適用会社となりました。

さらに、当社グループが取り扱う油種の品揃えの拡大を目的に、米油を取り扱うポーソー油脂株式会社を子会社化いたしました。両社の持つ経営資源や知見を相互に活用し、製造体制の統合や両社の商材と販路の活用等を行うことにより、両社における事業のシナジーを最大化させてまいります。

当連結会計年度の経営成績は、連結売上高が 255,997 百万円と前年同期に比べ 1,980 百万円(0.8%)の増収となりました。営業利益は 7,594 百万円と前年同期に比べ 1,214 百万円(13.8%)の減益、経常利益は 9,213 百万円と前年同期に比べ 947 百万円(9.3%)の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は 10,115 百万円と前年同期に比べ 3,351 百万円(49.5%)の増益となりました。

【2022 年3月期連結業績予想】

国内経済情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の脅威は依然として続いており、不透明な経営環境が続くと見込まれております。

当社グループは、穀物の一次加工を主な事業としており、小麦、大豆、菜種、とうもろこしなどの原料穀物相場や為替相場の影響を受けます。特に原料穀物相場は高止まりの状態が続いており、引き続き厳しい環境が予想されますが、原料コスト上昇に見合う販売価格の適正化に向け、引き続き注力してまいります。

このような状況において、当社グループは、当社 90 周年を迎える 2025 年度のありたい姿(長期ビジョン)「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、「確立」のステージと位置付ける2nd Stage「中期経営計画 20-22」の2年目を迎えております。分水嶺となる今期、最終年度を見据え、計画の達成に向けて取り組むことで厳しい経済環境に対処してまいります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う個人消費や企業活動への影響は不透明であり、引き続き当社グループの事業にも影響を及ぼす可能性があるものと考えられます。

2022 年3月期の業績は、連結売上高 2,800 億円、連結営業利益 79 億円、連結経常利益 90 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 60 億円を見込んでおります。なお、売上高につきましては、2022 年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号)等を適用することによる影響はあるものの、原料穀物相場上昇による影響や、前連結会計年度に完全子会社化したポーソー油脂株式会社、サンエイ糖化株式会社が通年で業績に寄与すること等により増収を見込んでおります。

以 上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松
TEL:03-3257-2042